

2012年11月21日

公益財団法人みちのく未来基金

第1期 事業報告

(報告対象期間:2011年10月~2012年9月)

【奨学金給付事業関連】

1. 第1期生に対する奨学金の給付

第1期生に対する奨学金の給付を開始しました。

① 給付人数

	県別進学者状況			県別進学先内訳			県別進学地域内訳		
	申請者	進学数	浪・断念	国公	私大	専門	県外	県内	自宅外
合計	102	96	6	11	43	42	55	41	79
岩手県	35	35	0	7	17	11	29	6	35
宮城県	60	54	6	2	24	28	20	34	38
福島県	6	6	0	1	2	3	5	1	5
栃木県	1	1	0	1	0	0	1	0	1

基金の現地調査により、被災地域において今春卒業した高校3年生の震災遺児は約120名程度存在することが確認されており、そのうち、奨学金給付申請は102名、最終的な進学者は96名と、当初の進学者推定54名程度から大きく上回る人数となりました。2012年3月に高等学校を卒業した震災遺児の進学率は8割以上となり、震災前の被災3県の平均進学率約40%に比べ2倍となりました。みちのく未来基金現場スタッフの訪問活動も効果的に行うことができたことから、震災直後の大きな混乱の中で遺児の進学に関してみちのく未来基金が果たした役割は大きいものと考えます。

※8月末現在、1名の退学者が出ており、8月末時点での給付対象者は95名となっています。

② 奨学金給付金額

第1期生への現時点の奨学金給付実績および1期生への2013年3月までの給付予定金額ですが下記の通りとなります。

・1期生への給付実績(9月末)までの給付実績	7,303万円
・1期生への給付予定 入学年度(2012.10月～2013.3月まで)	1,492万円
上記合計	8,795万円

1期生の1年目の入学金および学費等の総額は約8,800万円程度となる見込みです。本年度においては被災者減免制度を採用している学校も多数あり、実際の必要金額約13,000万円程度から大幅に下回る結果となりました。

2. 第2期生の募集開始

高校生3年生の進路決定時期が夏休みであることから、本年については夏休みまでに申請および給付認定(合格後に奨学金を給付するお約束)を出すために、4月より2期生の募集を開始致しました。

第2期生「みちのく未来基金」奨学金給付希望者 県別内訳

	2012年度(人)					2011年度(人)			
	希望者	国公立 大学	私立 大学	専門 学校	未定	進学者	国公立 大学	私立 大学	専門 学校
合計	113	43	32	32	6	96	11	43	42
岩手県	35	17	6	8	4	35	7	17	11
宮城県	69	23	23	22	1	54	2	24	28
福島県	6	3	2	1	0	6	1	2	3
3県以外	3	0	1	1	1	1	1	0	0
年度内 割合	100.0%	38.1%	28.3%	28.3%	5.3%	100.0%	11.5%	44.8%	43.8%

※上記は9月末時点での奨学金給付希望者で、合格後に奨学金が給付されます。

基金の調査では、2013年春高校卒業予定の震災遺児は約150名。うち75%にあたる113名が8月末現在、進学(奨学金給付)を希望しており、奨学金の必要金額は2期生のみだけでも約1億4千万円となっています。今年の顕著な傾向として、地元大学への進学を希望する生徒が昨年の43%から50%に増加しており、地元に残り地域復興を自分達の手で行おうという生徒が増えています。このような生徒への支援は、被災地にとって希望の光を灯すことにつながります。

3. 選考委員会開催

みちのく未来基金では教育関係に造詣の深い委員の皆様「遺児であることの確認」を行って頂く形で選考委員会を運営しております。今期においては第1期生および第2期生を対象とした委員会を開催致しました。

① 「第1期生選考委員会」

2012年3月25日(日) 10:40~11:00 宮城大学

・出席委員

杉 昭重 福島県立安積黎明高等学校 校長 ・ 福島県高等学校長協会 会長
高橋 和雄 岩手県立盛岡第一高等学校 校長 ・ 岩手県高等学校長協会 会長

※委員庄司恒一氏は所用により欠席

・事務局

長沼孝義、河崎保徳、藤田晋太郎

2011年度奨学金申請者(2012年4月よりの奨学金給付開始者)について、東日本大震災の遺児孤児であることについての確認および承認を委員の方々に諮り、異議なく承認頂きました。

② 「第2期生選考委員会」

2012年7月8日(日) 11:30~12:10 仙台メトロポリタンホテル

・出席委員

杉 昭重 福島県教育委員会 教育長
庄司 恒一 元宮城県立仙台第二高等学校 校長 ・ 元宮城県高等学校長協会 会長
高橋 和雄 岩手県立盛岡第一高等学校 校長 ・ 岩手県高等学校長協会 会長

・事務局

長沼孝義、河崎保徳、西澤省吾

2012年度奨学対象者の確認(2013年4月より奨学金給付開始者)について、東日本大震災の遺児孤児であることについての確認および承認を委員の方々に諮り、異議なく承認頂きました。

4. 第1期生の集いの実施

3月24日~25日に『みちのく未来基金【第1期生の集い】』を実施しました。今回は『子ども同士のつながりを築き、自分を見つめ、未来へむけて思いを新たにする』という事を目的に開催致しました。国公立の後期合格発表のすぐ後だったことや、進学先へ引越し準備等子ども達

もとても忙しい中、基金に申請があった 102 名のうち 51 名が参加してくれました。1 日目はコミュニケーション作りのワークを実施、2 日目はこれから 1 人暮らしをする子どもの事を考えた、「簡単ヘルシーレシピ」をボランティア栄養士スタッフからレクチャー。子ども達手作りの料理をみんなでおいしくいただきました。そして最後の時間を『門出の会』として、それぞれが立てた目標を子ども達一人一人が発表。1 期生の子ども達が自分の選んだ道で大きく羽ばたけるように、これからも事務局一同応援していきたいと思ひます。

5. みちのく未来基金SNSの開設

3 月より、みちのく生同士の交流促進を目的に専用のソーシャルネットワークサイトを開設致しました。奨学生および基金関係者以外にはクローズドな空間を構築することで、安心して交流できる環境を整えています。合わせて、基金からの事務連絡も行えるように設計をし、基金と奨学生のやりとりの円滑化も図っております。

6. 第1期生夏の集いの実施

第1期生同士の定期的な交流促進のため 2012 年 8 月 28 日～29 日に那須りんどう湖およびカゴメ那須工場見学を実施しました。

【法人運営関連】

7. 寄附金受入状況

寄附金内訳(2012 年 9 月末現在)

	金額(円)	金額比率	人数	人数比率
個人	82,414,263	18.3%	1,808	85.6%
法人	326,915,463	72.7%	247	11.7%
団体	41,158,046	9.2%	57	2.7%
合計	449,540,595	100.0%	2,112	100.0%

2012 年 9 月末時点で約 4.5 億円の寄附が集まっている状況であり、発起 3 社を除いても約 3 億円のご寄附を賜ったこととなります。寄附者の皆様の高い志に感謝するとともに、このご寄附を子供たちのために大切に使うまいと思ひます。

8. 主たる事務所の移転、移転に伴う登記および定款の一部変更

基金立ち上げ以来、宮城大学様のご厚意により、事務所スペースを無償貸与頂き、基金業務を行ってまいりましたが、8 月 1 日より主たる事務所を仙台市泉区八乙女中央へ移転を行いました。また、移転に伴う登記申請のため、定款記載の主たる事務所の記載変更の必要性が生じたた

め、評議員会の同意決議を行い、定款の一部変更を行いました。

9. 広報活動

①みちのく未来通信創刊号発刊

2012年5月に寄附者、奨学生等基金関係者に対して、みちのく未来基金の現状をお伝えするみちのく未来通信の発刊を行いました。

②マスコミ向け広報リリース

2012年4月24日および8月21日に名でみちのく未来基金の活動を周知するためのマスコミ向け広報リリースを行いました。

③各種取材・訪問対応

各種企業・団体からの問い合わせや取材に関して対応致しました。

以上